彦一墨の衣を被せ給へば所々の
人々社を造り礎打流の音の人碎けて
物の如くなる濱の砂の数に成ぬと
川辺に流れ寄る五十年王位宮人賜
り一寺を造て所願成就を願ひ
を濱の海士の立る外を見ば所願
の水を汲て香華を供ずる時の今の
彦根寺と申す

長承大旅現長承造立之事

予考て云る中比高麗より中山へ生寺を
川掘て彦根寺へ又其寺を引移すと云えり大
山に高安寺浦にて所生寺を住せ宝性
毎年の月彦宮高安寺へ毎年参詣の義異
少方姑居をなしを掘て高安寺の住寺と寺領
在立ては石高の年貢の京等附せられ
川北田尻村因田肥前と云人造る中山今の杉山のまたり定深